

平成18年度東京都農林総合研究センター 研究発表会の開催！

平成18年度に東京都農林総合研究センターで実施した試験研究、調査等の成果について、発表会を開催いたします。

農林関係事業者の方々はもとより、広く一般の方のご来場をお待ちしております。

日時 平成19年3月9日（金）10時～16時

場所 （財）東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター 講堂
立川市富士見町3-8-1（JR青梅線西立川駅から徒歩7分）

主な発表課題

- 『お茶を使って安心畜産』 ～抗菌性飼料添加物の削減技術の開発～
「豚を健康に育てるために飼料に添加する抗生物質を茶葉に置き換える技術を開発します。」
- 『鉢花の空気浄化能力は栽培管理で変わります』 ～出荷前順化と空気浄化能力の関係～
「鉢花は室内の空気をきれにする能力があります。栽培技術でその機能を向上させます。」
- 『特産化をめざしたカキ新品種‘東京紅’の栽培指針』
～果実を成らせる位置の目安と収穫期の判断方法～
「農総研育成のカキ新品種‘東京紅’の、おいしい果実を採る時期を判定します。」
- 『野菜の有望品種の選定』 ～都民ニーズに応えるおすすめ品種を紹介～
「ダイコンなどの家庭菜園でも作れる、食味や収量に優れた品種を紹介します。」
- 『土はなくてもキュウリは育つ』 ～樽栽培システムによる抑制キュウリ栽培へのチャレンジ～
「樽栽培システムは土を使わずに簡単に隔離栽培ができます。キュウリの栽培に挑戦しました。」

☆ このほかに8課題の発表があります。

特別講演(14:15～15:00)

『残留農薬と農産物の安全を考える』

元バイエルクロップサイエンス（株）相談役 上山 功夫 氏

<問い合わせ先>

（財）東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター
研究企画室（木曾・会田） 電話 042-528-5216（直通）